

年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年及び 上学年との関連	他教科等との関連	
4月 (3時間)	1	サッカーの漫画を描きたい	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	困難を乗り越える力	目標に向かい、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。	◎日常生活のほんの小さな目標であっても、それが達成できて満足した経験はないか。 ◎きっかけはなんであれ、将来の目標を決めた高橋さんはどんな気持ちだっただろう。 ◎漫画家への道は順調に進んだのだろうか。 ◎漫画を描くうえでさまざまな困難にも負けず、高橋さんはなぜ努力できたのだろう。 ◎努力は簡単にできることだろうか。努力をするために大切なことはなんだろう。	困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く意志の大切さに気づき、自分の生活の中で目標をもって取り組もうとする、意欲的な発言や記述が見られる。	第6学年 ・上村さんのちょうせんーひさい 犬と共にー ・iPS細胞の向こうに 第2学年 ・初心	美術 保健体育 総合的な学習の時間
	2	挫折から希望へ	D-(22) よりよく生きる喜び	弱さを乗り越え生きる	人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し、よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。	◎何かに行き詰まり、諦めてしまったことはないか。 ◎次々と受けるコンクールに落ちていったとき、千住さんはどんな思いだっただろう。 ◎父の言葉を聞いて、千住さんはどんなことを考えただろう。 ◎千住さんが涙を流して言った「ありがとうございます。」には、どんな意味が込められているのだろう。 ◎誰にでも弱さがあるけれど、弱さを乗り越え生きていくために大切なことはなんだろう。	自分の弱さを克服してよかった、これからもよりよく生きていこうといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・スポーツの力 第2学年 ・自分の弱さと戦え	音楽
	3	人のフリみて	B-(6) 思いやり、感謝	ありがとうの力	日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気づき、自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする態度を育てる。	◎最近、誰かに「ありがとう。」と言った経験はあるか。 ◎みんなが「ありがとう。」と言うとき、どんな思いから言っているのだろう。 ◎自分はお金を払っていて、相手も仕事であるのに、わざわざ「ありがとう。」を伝えるのはなぜだろう。 ◎自分に向けた「ありがとう。」ではないのに、筆者が爽やかな気持ちになったり、まねしたいと思ったりしたのはなぜだろう。 ◎「ありがとう。」の言葉は、私たちにどんな不思議な力を与えてくれるだろう。 ◎「ありがとう。」の気持ちを家族などの周りの人にどうやって伝えたらよいらう。	自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づき、それをあたりまえと思わないことや、感謝の気持ちを素直に表現することが大切であるといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・おかげさまで ・心づかいと思いやり 第2学年 ・夜のくだもの屋	国語 総合的な学習の時間
5月 (3時間)	4	「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7) 礼儀	礼儀の心	あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時、場所、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	◎あいさつをするとき、気をつけていることはあるか。 ◎二人組になって、「おはようございます。」とってみよう。言われた人はどんな気持ちか伝え合おう。 ◎「あいさつの有無でずいぶん気分が変わる」のはどうしてだろう。 ◎「あいさつって、言葉のスキンシップになるんです。」とはどういうことか考えてみよう。 ◎「おはようございます。」のあとに、どんなことを言えばよいか考えて、みんなの前で演技してみよう。 ◎あいさつはどうして大切なのか、あらためて考えてみよう。 ◎あいさつについて、これからどんなことを大切にしていきたいか、まとめてみよう。	あいさつが、人間関係や社会生活を円滑にするものであることを理解し、時、場所、場面に応じた言動をしようとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・人間をつくる道一剣道一 第2学年 ・挨拶は言葉のスキンシップ	国語 特別活動
	5	さかなのなみだ	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめのない集団	同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。	◎学級の中でいじめが起きているとしたら、あなたは思うか。 ◎「小さな学校やせまい社会のなかにもいじめがある」とあるが、あなたはそれをどう思うか。 ◎「ほっとした表情」とあるが、いじめられていた子はどんな気持ちになったのだろう。 ◎さかなくんが、中学生のときいじめに接した経験から考えたことは、どんなことだろう。 ◎いじめのない集団にするためには、どんなことを大切にしなければならないだろう。	人間としてよりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりをせず、積極的に正義や公正を実現しようとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・わたしのせいじゃない 第2学年 ・ヨシト	特別活動
	6	近くにいた友	B-(8) 友情、信頼	心から信頼できる友達	互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。	◎あなたにとって、友達はどんな存在か。 ◎オサムは、家に帰ってスマホを見たとき、どんなことを考えただろう。 ◎信也とオサムが話す場面を、みんなの前で演技してみよう。 ◎演技のあと、感想や意見を発表し合おう。 ◎雄一から話を聞いたオサムは、信也の家に向かう途中、どんなことを考えていただろう。 ◎お互いに心から信頼できる友達になるためには、どんなことが必要だろう。	互いに心から信頼できる友情を築き、いっそう友達を大切にしたいという発言や記述が見られる。	第6学年 ・ロレンゾの友達 ・カスミと携帯電話(情報モラル) 第2学年 ・五月の風ーミカー	技術・家庭 (技術分野) 特別活動
7	トマトとメロン	A-(3) 向上心、個性の伸長	個性を大切に	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。	◎なぜ、トマトとメロンを比べてもしょうがないのか。 ◎「いのちを百点満点に生きる」とはどういうことを言っているか。 ◎この詩をとおして、相田さんは私たちにどんなことを伝えたかったのだろう。 ◎自分の個性を生かして生きるためには、どんなことが大切だろう。	発言や記述から、自己を見つめ、自らのよさに気づき、これからの生き方の中でそれを伸ばしていこうとする気持ちをもって、また、自らの実感を振り返りながら考えを深める様子が見られる。	第6学年 ・それじゃ、ダメじゃん 第2学年 ・「自分」ってなんだろう	国語 特別活動	

年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年 及び 上学年との関連	他教科等との関連
6月 (4時間)	8 ばあば	D-(19) 生命の尊さ	ともに生きる	生命は先祖代々つながっており、関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに、お世話になった方を尊重しようとする態度を養う。	○祖父母と同居している人はいるか。 ○「『ばあば』は足腰が弱らないように自分でトレーニングしている」と母から聞いたとき、「僕」はどんなことを考えただろう。 ○「ばあば」が、「死んだ子どもとじいちゃんのところへ、はよう行きたい」と言ったとき、「僕」はどんな気持ちだっただろう。 ◎「僕」たちは、「ばあば」から何をもらっていたのだろう。 ○ともに生きることの意味について、考えてみよう。	生命に関わり合い支え合ってきたことを自分なりに考え、自他の生命や、お世話になった方を尊重したいといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・命のアサガオ 第2学年 ・最後のパートナー	保健体育
	9 ふれあい直売所	C-(10) 遵法精神、公德心	きまりを守る社会	きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。	○みんながきまりを守るのはどうしてか。 ○「私」はどのような思いで直売所に野菜を出しているのだろう。 ○「私」が妹の言葉にもやもやしたのはなぜだろう。 ◎「私」の「もやもやした気持ち」が一気に晴れたのはどうしてだろう。 ○きまりを守る社会を実現するためには、どんなことを大切にしていけばよいだろう。 ○学習をとおして何か新しい気づきはあったか、教材を読む前と今の考えを比べてみよう。	よりよい社会の実現のために進んできまりを守ろうとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・団地と子犬 ・消えた本 第2学年 ・オーストリアのマス川	社会 技術・家庭 (技術分野)
	10 あったほうがいい?	C-(12) 社会参画、公共の精神	よりよい社会のために	身近なゴミ問題を考え話し合うことをとおして、社会に尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○智子は街で散らかったゴミを見て、どのような気持ちになったのか。どのような経験はあるか。 ○「あったほうがいい?」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ○誰もが街をきれいにしたいと思っているはずなのに、ゴミ問題が起こるのはなぜだろう。 ◎ゴミ問題を解決するためには、どんな考え方が大切だろう。グループで話し合おう。 ○街をきれいにするためにどうすればよいか、どんな心構えが大切かまとめてみよう。	身近にあっても解決が一筋縄ではいかない現代的な問題に対し、よりよい社会の実現をめざして具体的な解決を自分なりに考えようとする意欲が、発言や記述に見られる。	第6学年 ・母の仕事 第2学年 ・門掃き	社会 特別活動
7月 (2時間)	11 疾走、自転車ライダー	A-(2) 節度、節制	安全への心構え	身近に起こり得る交通事故をもとに、安全や危機管理の大切さを理解し、安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	○これまでに、事故やけがで「ひやりとした」経験はないか。なぜそうなったのだろう。 ○犬を連れのおじさんの横をすり抜けるとき、行雄はどんな気持ちだっただろう。 ○行雄は、猫が飛び出したせいで事故が起こったと言うが、あなたはどうか考えるだろうか。 ◎事故までのことを振り返り、行雄の言う「安全運転」について、あなたはどうか考えるだろうか。 ○自分の身近にある「安全」について、あらためて考えてみよう。	生活の中の安全や防災への意識、具体的な行動を考える発言や記述が見られる。	第6学年 ・カスミと携帯電話 第2学年 ・避難所にて	特別活動
	12 花火に込めた平和への願い	C-(18) 国際理解、国際貢献	世界平和のために	国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。	○このアリゾナ記念館は、なぜあるのだろうか。 ○どんな気持ちで、ゆかりはホノルルに着いたのだろう。 ○事前学習のとき、ゆかりはどんな思いでいたのだろう。 ○ガイドさんたちと接することで、ゆかりの心はどのように変化してきたのだろう。 ○「未来を見つめて」というガイドさんの話から、ゆかりはどんなことを考えたのだろう。 ◎日本と世界の平和のために、ゆかりにできることはなんだろう。 ○世界平和のために、自分に何かできることはないか考えてみよう。	他国の文化や伝統などを尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・東京オリンピック 国旗にこめられた思い 第2学年 ・海の空-軽野の人々-	社会 外国語
9月 (4時間)	13 部活の帰り	B-(8) 友情、信頼	心がときめくとき	異性についての理解を深め、互いに相手の人格を尊重しながら接していく態度を育てる。	○横断歩道の所でK子に気づいた「僕」は、どんな気持ちだったか。 ○「僕の出番だ。」と思いつつも、「僕」がちゅうちよしたのはなぜか。 ○キザな男と思われたくないにもかかわらず、どうして「僕」はとっさに横断歩道のボタンを押したり、バスを引き止めたりしたのだろう。 ◎K子が「僕」の方を見てニコッと笑ったとき、「僕」はどんなことを考えただろう。 ○異性に対して、人として互いに理解し合いたいと思うことは、どんなことか考えてみよう。	一方的な関心や憧れでなく、相手の心や思いを素直に受け止め、一人の人間として互いの人格を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・言葉のおくり物 第2学年 ・恋する涙	保健体育
	14 私らしさって?	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分の意志で	周囲の目に惑わされず、自分の中にある自主性を大切に、自分で決め、考え、行おうとする実践意欲を育てる。	○中学校へ入学してから今までを振り返って、これからの自分の生活に期待することはどんなことか。 ○「心にぽっかりと穴があいたような感じ」というユウコの思いを、あなたは理解できるか。それはなぜか。 ○周りが気になり、自分の意見が言えなくなっていくユウコの心の変化を、あなたはどうか思うか。それはなぜか。 ◎「ユウコらしくないよ。」という言葉を出しながら、ユウコはどんなことを考えただろう。 ○自分が変わっていくように感じたとき、あらためて考え直したいことはどんなことだろう。 ○「自分らしい」とはどういうことか、意見交流してみよう。	「自分らしさ」とは何かを考え、人間として成長していくために、自主的に考え、判断し、行動しようとする意欲が発言や記述に見られる。	第6学年 ・ほんとうのことだけど・・・ 第2学年 ・五月の風-カナ-	特別活動

年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年及び上学年との関連	他教科等との関連	
	15	むかで競走	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	みんなをまとめる力	学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。	○剛やほかの生徒が「一宏がいなかったら、俺らぜったい優勝だよなあ。」と言うのを聞いて苦笑いしかできない拓也についてどう思うか。 ◎拓也が「その場から動けなかった」のは、どうしてだろう。 ◎学級みんなはなぜゴールに走り寄ったのだろう。また、そのとき拓也はどんな気持ちで一宏に声をかけたのだろう。 ◎リーダーを務めるとき、求められるのはどんなことだろう。	発言や記述に、学級や学校の一員としての責任を考え、集団の質を高めながらよりよい学校生活を送ろうとする実践意欲や態度が見られる。	第6学年 ・二十五人でつないだ金メダル 第2学年 ・ハイタッチがくれたもの	特別活動
	16	震災を乗り越えて—復活した郷土芸能—	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土芸能を伝える	郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し、郷土への誇りや愛着をもち、郷土に対して主体的に関わろうとする心や態度を育む。	○どんな伝統芸能を知っているか。 ○長谷川さんや長洞くんは、どうして郷土芸能を復活させたかったのだろう。 ○大きな拍手が沸き起こったとき、生徒のみんなはどんな気持ちだっただろうか。 ◎長洞くんが、後輩たちに「郷土芸能を自分たちの手で伝えてほしい」のはどうしてだろう。 ○あなたの住んでいる地域には、どんな郷土芸能があるだろうか。それにはどんな意味があるのだろうか。	地域に伝えられてきた伝統と文化を、自分たちが受け継いでいくことが大切であるといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・天下の名城をよみがえらせる—姫路城— 第2学年 ・和樹の夏祭り	社会 総合的な学習の時間
	17	使っても大丈夫？	C-(10) 遵法精神、公德心	自他の権利と法の遵守	法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。	○写真などの画像を友達とSNSなどでやりとりした経験はないか。 ○事例1～3について、使っても大丈夫か、問題があるとすればなんだろう。それはなぜか話し合ってみよう。 ○事例1～3とは逆に、事例4のように自分が描いた絵を無断で使われたらどう思うだろうか。 ◎著作権法などの法律は、なぜあるのだろう。また、社会でどんな役割を果たしているのか考えよう。 ○義務で守っているルールほかに、自ら「尊重したいから守る」と考えているルールはないだろうか。	法やきまりが社会でどんな役割を果たしているか考え、自他の権利を重んじる自覚が発言や記述に見られる。	第6学年 ・カスミと携帯電話(情報モラル) ・消えた本 第2学年 ・美しい鳥取砂丘	技術・家庭 (技術分野) 特別活動
10月 (4時間)	18	公平と不公平	C-(11) 公正、公平、社会正義	公平とは何か	話し合いをとおして公平とは何かを考え、その大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする態度を養う。	○公平や不公平を感じるのはどんなときか、アンケートに答えよう。その結果から思うことは何か。 ○グループになって、A、B、Cの中から話し合う事例を決めよう。 ○話し合う事例について、それが公平かどうか、その判断の理由とあわせて考えよう。 ○考えたことをグループで話し合おう。 ◎公平か不公平かを判断するとき、大切にしなければならないことはなんだろう。学級全体で話し合おう。 ○不公平は、どのようにすれば解決していけるか、自分の考えをまとめてみよう。	友達の意見を聞きながら、公平とは何かを主体的に考えている様子が見られる。	第6学年 ・杉原千恵—大勢の人の命を守った外交官— 第2学年 ・リスペクト アザース	社会 総合的な学習の時間
	19	違いを乗り越えて	C-(18) 国際理解、国際貢献	多文化の理解を深める	日本の習慣や文化のよさを理解するとともに、ほかの国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする意欲を高める。	○ホームステイとはなんのことか、知っているか。 ○「私」は、Aさんがお刺身を食べ続けるのを見てどのように思ったのだろう。 ○そば屋でちょっとしたけんかになり、「私」がすっきりしない気持ちになったのはなぜだろう。 ◎「大切なのは気持ち」だと気づいた「私」は、どんなことを考えたのだろう。 ○私たちが他国の人と接するとき、どんなことを大切にしていけばよいだろう。	困難があっても、お互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・エルトゥールル号—日本とトルコのつながり— 第2学年 ・ダショー・ニシオカ	社会 外国語
	20	あふれる愛	D-(19) 生命の尊さ	生まれてきた大切な生命	生命の尊さについて、その連続性や有限性も含めて理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする精神と態度を育てる。	○「愛」とはなんだと思うか。 ○赤ん坊が捨てられたり、生きているのに見捨てられた人々が路上にあふれたりしている様子を思い浮かべて、あなたはどんなことを思うか。 ○院長の心を動かしたのはなんだと思うか。 ◎マザー・テレサは、どうしてこれほど真剣に老婆を助けたいと思うのだろう。 ○生まれてきた大切な生命について、考えたことをまとめてみよう。	死を待つ人々でさえも救おうと懸命に頑張るマザー・テレサの姿に共感する発言や記述が見られる。また、そこから生命の重さを見つめ、大切にしようとする姿勢が見られる。	第6学年 ・命のアサガオ 第2学年 ・体験ナースをとおして	社会 外国語
	21	富士山から変えていく	C-(12) 社会参画、公共の精神	つながりが生み出す力	公德心および社会連帯の自覚を深め、一人ひとりが協力し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。	○富士山に対して抱いているイメージを3つ書こう。 ○「富士山から変えていく」を読んで、心に最も強く残った部分を理由も含めて考えよう。 ○野口さんが指摘する現実の富士山の姿をグループで出し合おう。 ◎「自分たちの力で、この状況を変えていく。」と意識し行動することを、野口さんはなぜ大切にしているのだろう。 ○みんなが力を合わせることで、変えられることはないだろうか。	よりよい社会を実現するためには、一人ひとりの意識を高め、力を合わせて行動に移すことが大切だ—という思いが見られる。	第5学年 ・サタデーグループ 第6学年 ・母の仕事 第2学年 ・行動する建築家 坂 茂	社会 理科

年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年 及び 上学年との関連	他教科等との関連	
11月 (4時間)	22	木の声を聞く	D-(20) 自然愛護	自然を愛する	自然の崇高さを知り、自然に謙虚に向き合いながら自然の愛護に努めようとする態度を育てる。	◎自然のものを見て「美しいなあ！」と感動した体験、自然の神秘に触れた体験を思い出してみよう。 ◎「木を救う仕事ではなく、その木に宿る生命力を高めるための手伝いをしているだけ」と塚本さんが思うようになったのはなぜだろう。 ◎塚本さんが、この大藤は移植できる、と確信できたのはどうしてだろうか。 ◎樹木に祈りをささげ、その声に耳を澄ます、塚本さんの姿に何を学ぶことができるだろう。 ◎自然と人間が共生するために、できることを考えてみよう。	生徒の発言や記述に、人間が上からの立場で自然を保護しようとするのではなく、自然の恵みをもたらって生かしていただいているという塚本さんの考えに共感し、自然を守ることの意味を考え、自ら自然を愛護しようという意欲的な態度が見られる。	第6学年 ・緑の闘士ワンガリ・マータ イー 第2学年 ・よみがえれ、えもりの森	理科 総合的な学習の時間
	23	バスと赤ちゃん	B-(6) 思いやり、感謝	社会の中の思いやり	思いやりの心をもって人と接するとともに、多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、人間愛の精神を深める。	◎赤ちゃんについてどんなイメージをもっているか。 ◎どうしてお母さんは「ここで降ります。」と言ったのだろう。 ◎バスの運転手さんが乗客に伝えたかった思いはなんだろう。その思いは、なぜ乗客に伝わったのだろう。 ◎最初に拍手をした人と運転手さんの共通点はなんだろう。 ◎この光景は、どうして「私」の大切な思い出になったのだろう。 ◎社会の中で思いやりが求められる状況で、自分はどうか対応しようと思うか、想像してみよう。	思いやりの心をもって、人間愛の精神を深めようとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・最後のおくり物 第2学年 ・名乗り出なかった夜	技術・家庭 (家庭分野) 総合的な学習の時間
	24	家族と支え合うなかで	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	支え合う家族	父母、祖父母に対する敬愛の念を深め、家族の一員として協力し合って生活しようとする実践意欲を高める。	◎「私」が逃げてしまったのは、どんな気持ちからだろう。 ◎母の話を聞いて、「私」の心はどのように変わったのだろうか。 ◎老人ホームへの訪問をとおして、「私」はどんなことを考えただろうか。 ◎「私」が祖母の世話をすることは、家族にとってどんな意味があるのだろうか。 ◎家族のつながりをより深めるためには、どんなことが大切だろう。	家族から受けている無償の愛情や激励に気づき、家族の一員として協力していこうとする意欲が発言や記述に見られる。	第6学年 ・初めてのアンカー 第2学年 ・きいちゃん	技術・家庭 (家庭分野)
12月 (2時間)	25	私は清掃のプロになる	C-(13) 勤労	心がこもった仕事	働くことを通じて、喜びや生きがい、社会とのつながりを実感し、社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。	◎新津さんは日本へ来たとき、どのような気持ちだったのだろう。 ◎新津さんはどんな思いで、学校以外の時間や就職したあとも清掃の仕事が続けてきたのだろう。 ◎新津さんが、恩師に「あなたの清掃には心がこもっていない。」と言われたのはなぜだろう。 ◎心がこもった仕事とは、どんなものだろう。	勤労をとおして社会とのつながりを感じ、社会に貢献しようとする意欲が発言や記述に見られる。	第6学年 ・母の仕事 第2学年 ・おばちゃんのかれた “おまじない”	総合的な学習の時間
	26	奈良筆に生きる	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統を守る	日本人としての自覚をもって我が国の優れた文化を継承し、その創造に貢献しようとする態度を育てる。	◎奈良筆についてどんな感想をもったか。 ◎「この頃の奈良筆は、質が落ちた。」という話を耳にしたとき、史峰はどんなことを決心したのか。 ◎史峰は、なぜ筆ペンの出現を不安に思ったり、奈良筆の伝統工芸後継者を求めて走り回ったのだろう。 ◎史峰は、仕事場に掲げた「一を以て之を貫く」という書を見ながら何を思ったのだろう。 ◎伝統や文化を継承していくために必要なことはなんだろう。	史峰の生き方に触れることにより、日本の伝統や文化を大切に、日本人として誇りをもって生きようという発言や記述が見られる。	第6学年 ・ほくのお茶体験 第2学年 ・包む ・さよならホストファミリー	国語 社会
1月 (3時間)	27	ゆうへー生きていてくれてありがとう	D-(19) 生命の尊さ	つながる生命	多くの人々の支えによって生きていると気づくことで、誰もがかけがえのない存在であると理解し、互いの存在を大切にしようとする実践意欲を育む。	◎「1.17希望の灯り」はなんの火だと思うか。 ◎突然の地震に、しょうくん、ゆうちゃんの母であるたかいさんは、どんな気持ちになっただろう。 ◎たかいさんはどんな思いから、しょうくんのもとには行かず、ゆうちゃんと一緒に生きることを選択したのだろう。 ◎「生きていてくれてありがとう」という言葉には、たかいさんのどんな思いが込められているのだろう。 ◎人とつながって生きている自分を、あなたはどうか考えるだろうか。	生きていることがあたりまえではないことに気づき、生命のつながりや支え合いに関する発言や記述がある。	第6学年 ・その思いを受けついで 第2学年 ・命見つめて-猿渡 瞳さんの六百四十六日-	社会 総合的な学習の時間
	28	旗	B-(8) 友情、信頼	友達のよさ	友情の尊さを理解するとともに、真の友情を築くために、互いに信頼し、励まし合おうとする実践意欲を高める。	◎今までに、友情を感じたことはあるか。 ◎レモンいろの旗を見た少女は、どんなことを思ったのだろう。 ◎友だちに自分の思いを話す少女は、どんな気持ちだろう。 ◎クラス旗(パッチワークの旗)がひるがえっているのを見た少女は、どんなことを思ったのだろう。 ◎友達に支えられていると思うことは、どんなことだろう。	自分にも友達を励まし支えていくことができると気づき、また、それに応えようとする双方向の大切さを捉えた発言や記述が見られる。	第6学年 ・ロレンゾの友達 第2学年 ・ライブル	数学 特別活動

年間指導計画案 第1学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年及び 上学年との関連	他教科等との関連
	29	自分だけ「余り」になってしまう……	B-(9) 相互理解、寛容	お互いを認め合う	いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぶ態度を育てる。 ○今まで自分だけ「余り」になって困ったことはなかったか。そのときどんな気持ちだったか。 ○好美さんの悩みを整理しよう。 ○重松さんは、「ひとりになる」ことについて、どんな捉え方をしているのだろうか。 ◎「余りの一人」を分かち合うとは、どういうことだろう。また、分かち合うときには何が大切だろう。グループで話し合おう。 ○お互いに認め合って生きていくために、大切なことを考えてみよう。	問題解決的な学習をとおして、「余り」をつくらない生き方のために、互いの存在を認め尊重し合うことが大切だといった発言や記述が見られる。	第6学年 ・ぼくだって ・ブランコ乗りとピエロ 第2学年 ・コトコの涙	特別活動
	30	オーロラ—光のカーテン—	D-(21) 感動、畏敬の念	自然に感動する心	○今までに自然の雄大さに感動した経験はあるか。 ○なぜ吉沢さんはオーロラを見るために、毎年のようにカナダを訪れてきたのだろうか。 ○吉沢さんが驚き、腰を抜かしそうになりながら、オーロラを見上げる気持ちを想像してみよう。 ○なぜ吉沢さんはオーロラに対して口笛を吹いたり、手をたたいたりするのだろうか。 ◎仰向けで空を見上げていたときの吉沢さんは、どんな気持ちだっただろう。 ○雄大な自然を前に、今、自分にできることはなんだろう。	オーロラ的美しさや神秘さを、自分の自然体験と比べながら感じ、自然に対する畏敬の念をもち、自然から学ぼうとする意欲を高めている。	第6学年 ・青の洞門 第2学年 ・樹齢七千年の杉	理科
	31	裏庭のできごと	A-(1) 自主、自律、自由と責任	誠実な生き方	○「誠実な生き方」と聞いて、どんな生き方を思い浮かべるか。 ○大輔から「俺を出し抜いて先生のところになんか行くなよ。」と言われたとき、健二はどんなことを考えていただろう。 ○健二は家に帰ってから、どんなことを考えていただろう。 ◎次の日、健二を職員室へ向かわせたものはなんだったのだろうか。グループで話し合おう。 ○自分で自分の態度を決めなければならないとき、考えなければならないことは何かをまとめてみよう。	誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りに気づき、自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られる。	第6学年 ・手品師 第2学年 ・ネット将棋	特別活動
2月 (4時間)	32	役に立つことができるかな	C-(13) 勤労	働くことの尊さ	○働く人の姿から、どんなイメージが浮かぶか。 ○職場体験に向かう「僕」たちがワクワクしているのはどうしてだろう。 ○体験前に「僕」が思っていた、消防士の仕事への「カッコいい」というイメージは、体験後どう変化したのだろうか。 ○帰りの電車の中で男の子を落ち着かせた先生の姿から、「僕」はどんなことを考えたのだろうか。 ◎「僕」が「社会の役に立つ職業に就きたい。」と決意したのは、どんな思いからだろう。 ○社会で働く意義について考えてみよう。	勤労の尊さを重んじる生き方をもとに、社会における自らの役割や将来の生き方に関して、発言や記述が見られる。	第6学年 ・母の仕事 第2学年 ・小さな工場の大きな仕事	総合的な学習の時間
	33	緑のじゅうたん	A-(5) 真理の探究、創造	理想に向かって	○国立競技場の芝は、なぜ冬でも青々としていると思うか。 ○鈴木さんが国立競技場のグラウンドに感動して就職を決め、働き始めたとき、どんなことを考えていただろう。 ○イングランドの監督から冬の芝が黄色いことを指摘されたとき、鈴木さんはどんなことを考えていただろうか。 ◎鈴木さんが、冬でも青々とした芝を作り続ける努力をしたのは、どんな思いからだろう。 ○自分の理想を求めるために、鍵になるのはどんなことだろう。	実現したいと思う理想を見つけようとする、前向きな発言や記述が見られる。	第6学年 ・地球を一周歩いた男一伊能忠敬— 第2学年 ・戦争を取材する	理科 保健体育 数学 総合的な学習の時間
	34	「肝心」のパスガイド	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ふるさとへの思い	○「沖縄観光」と聞いて思い浮かぶものはなんだろう。 ○「肝心」とは、具体的にどんな気持ちを表した言葉だろう。 ◎崎原さんの行動を支えているものはなんだろう。 ○自分のふるさととの向き合い方を考えてみよう。	自分のふるさとに対する再認識や、それを未来へ伝えていく大切さ、郷土の発展のために何ができるかなどに関する発言や記述が見られる。	第6学年 ・天下の名城をよみがえらせ— 一姫路城— 第2学年 ・和樹の夏祭り	社会 音楽
3月 (2時間)	35	いつわりのバイオリン	D-(22) よりよく生きる喜び	人間として生きる喜び	○バイオリン職人のフランクは、どんな思いで日々バイオリン作りに励んでいただろうか。 ○著名なバイオリニストから「あなたの作ったバイオリンで演奏したい。」と言われたとき、フランクはどんなことを考えただろう。 ○納得のいくものができなかったフランクは、ロビンのバイオリンに自分のラベルを貼る。そのとき、どんな思いだっただろうか。 ◎ロビンの手紙を読み、フランクは涙を流しながら何を考えていたのだろうか。 ○人間は失敗をすることがあるけれど、誇り高く生きていくにはどんなことが大切だろう。	フランクの心情の変化を追いかけ、誰もがもつ人間の弱さや醜さに共感し、よりよく生きる喜びに関わった発言や記述が見られる。	第6学年 ・のぼさんの夢 第2学年 ・足袋の季節	音楽

年間指導計画案 第2学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年 及び 上学年との関連	他教科等との関連
4月 (3時間)	1	自分の弱さと戦え	D-(22) よりよく生きる喜び	自分の弱さの克服	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもって、人間として気高く生きようとする態度を育む。 ○「自分の弱さと戦え」とはどういうことだと思うか。 ○国枝さんが当初、勝てなかったのはなぜだろう。 ○ケインさんは、なぜ「俺は最強だ！」と叫ばせたのだろう。 ◎国枝さんが、精神面で殻を破るために必要だったことはなんだろう。 ○自分の弱さを克服するために、どんなことが大切か考えてみよう。	自分の弱さや醜さを克服し、強さや気高さに変える気持ちをもとうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・挫折から希望へ 第3学年 ・風に立つライオン	保健体育
	2	おばちゃんのおまじない	C-(13) 勤労	働くということ	自分の仕事に誇りをもち、働く喜びを得ることが充実した生き方につながることを理解して、主体的に将来の生き方を考えようとする意欲を育てる。 ○「働く」と聞いて、どんなことをイメージするか。 ○今まで雑に仕事をしてきたことに愕然としたとき、「私」はどんなことを考えただろう。 ○おばちゃんが無くなり、病院中に響き渡るほど大声で泣いたとき、「私」はどんな思いだっただろう。 ◎「私」は、おばちゃんがかけてくれたおまじないはどう向き合ってきたのだろう。 ○将来就くであろう職業に、どんなことを求めているのかを考えてみよう。	働く喜びや自分の仕事への誇り、充実感の面から仕事について理解し、自分なりに将来の生き方を考えようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・私は掃除のプロになる 第3学年 ・あるレジ打ちの女性	総合的な学習の時間
	3	挨拶は言葉のスキップ	B-(7) 礼儀	心を形に	心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気づき、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。 ○「私」はどうして職場体験学習に積極的になれなかったのか。また、「私」はどんな気持ちで職場体験学習に臨んでいたのだろう。 ○店長さんに「お客様にどんなときに喜んでもらったの？」と聞かれ、なぜ「私」は答えることができなかったのだろう。 ◎店長さんが「私」たち二人に伝えたかったのは、どんな思いだろう。 ○心の込もった挨拶をすることがなぜ大切なのだろう。自分の経験を思い出しながら考えてみよう。 ○挨拶に込められている心について考えてみよう。	礼儀が、相手を尊重し敬愛する気持ちにつながり、コミュニケーションの基本になることを理解し、「…の気持ちで挨拶したい。」「形式だけの挨拶にならないように気をつける。」のような今後の実践につながる前向きな言葉が見られる。	第1学年 ・「愛情貯金」をはじめませんか 第3学年 ・出迎え散歩、見送り七歩	国語 総合的な学習の時間
5月 (3時間)	4	最後のパートナー	D-(19) 生命の尊さ	支え合う生命	生命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きることに感謝する心情を養う。 ○盲導犬はどのように育てられるか、知っているか。 ○「もうすぐ死ぬとわかっている犬をなぜ預かるの。」と尋ねられたとき、西田さんはどんなことを考えたのだろう。 ○西田さんは、松尾さんの手紙からどんな気持ちを受け取ったのだろう。 ◎「もう、引退犬には関わりたいくない。」と思っていた西田さんが、ボランティアを続けていこうと思ったのは、なぜだろう。 ○自分の周りにある支え合う生命について、考えたことをまとめてみよう。	周りの人たちが動植物が互いに支え合っているといった生命の尊さに関わる発言や記述が見られる。	第1学年 ・ばあば 第3学年 ・エリカ-奇跡のいのち-	理科 総合的な学習の時間
	5	五月の風—カナ—	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分を信じて	周囲に惑わされず、自分で考え決めたことを大切に、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。 ○自分で決めたことなのに、諦めたり、投げやりになったりして、達成できなかったことはあるか。 ○カナは一人でミカたちを待っているとき、どんな気持ちだっただろう。 ○カナはその日の夜、部屋で一人になったとき、どんなことを考えていただろう。 ◎カナはベランダにいたとき、次の日ミカに会って、何を伝えようと考えていたのだろう。 ○自分で考え行動するとき、大切なことについて考えてみよう。	自主的に考え、判断し、誠実に実行することについて、自分なりに考えた発言や記述が見られる。	第1学年 ・私らしさって? 第3学年 ・町内会デビュー	技術・家庭 (技術分野) 特別活動
	6	五月の風—ミカ—	B-(8) 友情、信頼	本当の友達	友達からの信頼に対して誠実に応え、互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくろうとする態度を育てる。 ○「五月の風」と聞いて、どんな風をイメージするか。 ○ミカがカナに連絡しなかったことについて、どんな問題が考えられるだろう。 ○カナからの電話で、ミカの胸がドキドキして、カナの心細そうな声が耳から離れなかったのはなぜだろう。 ◎ミカが「私はカナの信頼に応えていない。」と思ったのはなぜなのかを話し合おう。 ○相手にとって本当の友達になるためには、どんなことが大切だと思うか、まとめてみよう。	相手にとって心から信頼できる友達とはどんな友達かを考え、よりよい友人関係を築いていこうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・近くにいた友 第3学年 ・違うんだよ、健司	技術・家庭 (技術分野) 特別活動
7	リスペクト アザース	C-(11) 公正、公平、社会正義	個性を尊重する社会	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接して、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情を育む。 ○「食のタブー(牛)(豚)」について知っているか。 ○人間関係のトラブルが起こり、行動への注意ではなく「他の人のことを尊重しなさい」と言われたとき、「僕」はどんなことを考えただろうか。 ○日本に来て、これまでのサンディエゴでの常識が通用しなかったとき、「僕」はどう考えたのだろうか。 ◎「僕」はどんな思いから「人権尊重の社会を作っていくのは、僕たちひとりひとりの考え方による」と言うのだろうか。 ○差別や偏見を生む原因はどんなところにあるだろう。いろいろな角度から考えてみよう。	「他の人のことを尊重する」という考え方をとおして、歴史的な背景、風土などを踏まえてアメリカと日本の考え方を比べ、公正、公平な社会をめざし、よりよい生き方、考え方を模索するような発言や記述が見られる。	第1学年 ・公平と不公平 第3学年 卒業文集最後の二行	社会 特別活動	

6月 (4時間)	8	名乗り出なかった友	B-(6) 思いやり、感謝	さりげない優しさ	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。	○地域の高齢者などに、思いやりのある行動をとった経験はあるか。 ○全校集会で友達三人の顔を見ることができなかった「僕」の心の中は、どんなものだろう。 ◎一か月後の朝会で、初めて「僕」の胸に熱いものが込み上げてきたのは、どうしてだろう。 ○「僕」が「今度は僕の番だ。」と思ったのは、何を感じたからだろう。 ○思いやりのある行動をするために、大切なことはなんだろう。	思いやりの心や感謝の心、自分も関わる大切さについて発言や記述が見られる。	第1学年 ・バスと赤ちゃん 第3学年 ・電車の中で	社会 特別活動
	9	戦争を取材する	A-(5) 真理の探究、創造	真実を追い求める	真理や真実を求め、理想の実現をめざして、よりよく生きようとする態度を育てる。	○「戦争」や「紛争地」と聞いてどんな状況を思い浮かべるか。また、山本さんが撮影した写真を見てどんなことを感じるか。 ○ジャーナリストの仕事を選んだ山本さんに対して、あなたはどうか感じただろう。 ○医師の活躍を見て、山本さんが自分をちっぽけな存在だと感じたのはどうしてだろう。 ○息子をなくした父親からの感謝の言葉を聞いて、山本さんはどんなことに気づいたのだろう。 ◎山本さんが厳しい紛争地帯で仕事を続けたのは、どんな思いからだろう。 ○真実を追い求めようとするとき、どんなことが大切だろう。	山本さんの悩みを自分との関わりで考え、真実を明らかにし、理想の実現に向かってよりよく生きようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・緑のじゅうたん 第3学年 ・iPs細胞で難病を治したい	社会 総合的な学習の時間
	10	海と空—檜野の人々—	C-(18) 国際理解、国際貢献	国際社会の一員	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重しながら、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。	○串本町とトルコには、どんなつながりがあるのだろう。 ○「私」がどうしても檜野に行きたかったのは、なぜだろう。 ○エルトゥールル号の人々を救助した檜野の人々の思いは、どんなものだったのだろう。 ◎「海と空」をつなぐ水平線と同じように、二つの救援活動をつなぐものとはなんだろう。 ○国際人として生きていくために、私たちはどんなことを大切にすればよいだろう。	「同じ人間として他国と尊重し合うことが大切である。」「国際人としてこんな生き方をしたい。」といった発言や記述がある。	第1学年 ・火花に込めた平和への願い 第3学年 ・命のトランジットビザ	社会
7月 (2時間)	11	美しい鳥取砂丘	C-(10) 遵法精神、公德心	規則の役割	互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。	○私たちはなぜ、何を求めて観光をするのだろう。 ○「美しい鳥取砂丘」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ○落書きをしている人は、どんな気持ちで落書きをしているのだろう。 ◎落書きの問題を解決するためには、どんな考え方が大切だろう。そう考えた理由も含めてグループで話し合おう。 ○公共の施設や場所を大切にするために、私たちにどんなことができるか考えてみよう。	社会には法やきまりが守られない状況があるが、知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していくとする視点での発言や記述が見られる。	第1学年 ・使っても大丈夫？ 第3学年 ・二通の手紙	社会 理科
	12	和樹の夏祭り	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域の伝統の大切さ	郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。	○みんなが考える「この町の誇り」とはなんだろう。 ○和樹は、なぜ祭りが大好きなのだろう。 ○地域の夏祭りの中止を聞いて、和樹はどんなことを考えただろう。 ○「楽しんだら？」という剛に「それは、こっちのセリフじゃ。」と返した和樹は、どんなことを考えていただろう。 ◎「俺らの祭り」という一言が、和樹の心に引っかかったのはなぜだろう。 ○地域の伝統を絶やさないために必要なことはなんだろう。	地域社会の一員として、郷土の発展に努めようとする発言や記述がある。	第1学年 ・震災を乗り越えて-復活した郷土芸能- 第3学年 ・「稲むらの火」余話	社会 特別活動
9月 (4時間)	13	ハイタッチがくれたもの	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	私たちがつくる校風	集団で協力し合う大切さに気づき、狭い仲間意識を超え、よりよい校風をつくらうとする意欲を育てる。	○「いじめゼロサミット」とは、どんな取り組みなのだろう。 ○生徒会のみんなへ呼びかけても誰も賛成してくれなかったとき、裕司はどんな気持ちになっただろう。 ○「みんな大切な仲間だ。」と感じた裕司は、どんなことに気づいたのだろう。 ◎裕司が、もう一度、ハイタッチを提案しようと思えたのは、どんな思いからだろう。 ○学校のよさや伝統を後輩たちに伝えていくには、どうしたらよいだろう。	自己中心的な考えや狭い仲間意識を超え、互いに理解し協力し合ってよい学校をつくるのが大切だといった発言や記述が見られる。	第1学年 ・むかで競争 第3学年 ・お別れ会	特別活動
	14	ヨシト	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめへの公正な態度	偏見を正し、正義を貫こうと決意する主人公「僕」の姿に共感することをおして、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていくこととする態度を育てる。	○「空気が読めない」という表現を、どんなときに使っているか。 ○「ヨシト」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ○タカフミに言えなかったときの「僕」と、ヨシトにティッシュを渡したときの「僕」の違いを考えてみよう。 ◎人はなぜ、自分と異なる人を排除しようとするところがあるのだろう。考えたことをもとに、どんな考え方が大切かグループで話し合おう。 ○公正な態度を貫くために大切なことについてまとめてみよう。	自分の学校生活などを振り返って、偏った見方や考え方によって生じている不公平に気づき、それらをなくすよう努力していこうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・さかなのなみだ 第3学年 ・命の大切さ	特別活動
	15	ネット将棋	A-(1) 自主、自律、自由と責任	責任ある言動	誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動して、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。	○将棋の終わり方を知っているか。 ○いやそんな顔もせず駒を片づける敏和を見て、「僕」はどのようなことを思っていたらう。 ○「僕」がネット将棋からいきなりログアウトしたのは、どうしてだろう。 ◎敏和のツッコミに笑えなかった「僕」は、どんなことを考えたのだろう。 ○インターネット上の責任について考えてみよう。	善悪の判断を正しく行い、相手の立場に立って誠実に行動しようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・裏庭での出来事 第3学年 ・私も高校生	保健体育 技術・家庭 (技術分野)

	16	樹齢七千年の杉	D-(21) 感動、畏敬の念	自然の偉大さ	自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力をはるかに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。	○これまで山や海などで「美しいな。大きいな。」と心を打たれた経験はあるか。 ○樹齢七千年の杉の存在を聞いた筆者は、どう思っただろう。 ○縄文杉が「七千年の命」を育ててきているということから、筆者はどんなことを思っただろう。 ○「死の瞬間まで、命の火を、ほうほうと燃やす。美しい生き方」とはどんな生き方だろう。 ○自然の美しさや偉大さに接したとき、どんな思いになるか、考えてみよう。	自然のかけがえのなさや偉大さを感じとり、畏敬の念を深めているような発言や記述がある。	第1学年 ・オーロラ-光のカーテン- 第3学年 ・風景開眼	理科
10月 (4時間)	17	「自分」ってなんだろう	A-(3) 向上心、個性の伸長	自己を見つめる	人それぞれにかならずその人固有のよさがあることを理解し、その発見と自己受容、自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。	○あなたのよいところを考えてみよう。 ○グループになって、自分以外の人のよいところを「言葉のプレゼント」として書こう。 ○自分への「言葉のプレゼント」を、みんなから言ってもらおう。 ○『自分』ってなんだろうを読み、自分が「宝石になる」ために大切にしたいことを書き出してみよう。 ○自分が「宝石になる」ために大切にしたいことはなんだろう。意見を発表し合い、話し合ってみよう。 ○自分自身のよさを知ること、これからの自分がどう変わっていきそうか、考えてみよう。	自分には自分のよさがあり、他人にもよさがあることを発見して、自分に自信をもとうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・トマトとメロン 第3学年 ・新しい夏のはじまり	美術 総合的な学習の時間 特別活動
	18	小さな工場の大きな仕事	C-(13) 勤労	社会への貢献	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労をととして社会に貢献しようとする態度を養う。	○将来、どんな職業に就きたいか。 ○「僕」は、自分の家の仕事についてどのように思っていたのだろう。 ○職場体験のとき、「僕」はどんな気持ちで弁当を置いていったのだろう。 ○父の「黒い手が、誇らしく見えました。」と「僕」が感じたのは、どうしてだろう。 ○あなたにとって、「働く」とはどんなことかを考えてみよう。	自己の資質・能力を生かして社会に貢献することに意味があるといった勤労観に関わる発言や記述が見られる。	第1学年 ・役に立つことができるかな 第3学年 ・失った笑顔を取り戻す	理科 総合的な学習の時間
	19	体験ナースをとおして	D-(19) 生命の尊さ	輝く生命	かけがえのない生命を与えられていることに気づいて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。	○「命」とはどんなものか。どんなときに感じるか。 ○緊張した「私」が病院でナースキャップをつけてもらったとき、気持ちがキュッと引き締まった。どんな気持ちだったのだろう。 ○「私」は赤ちゃんにミルクを与えながら、どんなことを感じたのだろう。 ○「私」は、初めての出産で心細いはずの母親の満面の笑みを見て、どんなことを考えたのだろう。 ○「私」が母から出生の様子を聞いたときの、胸が「ギュッと締めつけられるような思い」とは、どんな思いだろう。 ○生命の重さや尊さについて、考えたことをまとめてみよう。	生命の尊さを理解し、生命の尊厳について理解を深めた発言や記述が見られる。	第1学年 ・あふれる愛 第3学年 ・臓器ドナー	保健体育 総合的な学習の時間
	20	行動する建築家 坂 茂	C-(12) 社会参画、公共の精神	社会のためにできること	社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。	○東日本大震災後の避難所では、どんな生活が送られていたと思うか。 ○坂さんは、どんな思いから間仕切りシステムを考案したのだろうか。 ○建築家としての評価が高まったにもかかわらず、坂さんの心が晴れなかったのはなぜだろうか。 ○坂さんは、どんな思いから被災地を飛び回り、ボランティアとして支援活動をしたのだろうか。 ○あなたはどんなことで社会に貢献しようと思っているだろうか。	社会に参画することの意義を理解し、積極的に社会に関わっていかうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・富士山から変えていく 第3学年 ・No Charity, but a Chance!	社会 数学 美術 総合的な学習の時間
11月	21	さよなら、ホストファミリー	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	私の中の日本	国際社会に生きる日本人としての自覚や、我が国の伝統と文化への誇りをもち、そのよさを発展させ、発信していかうとする実践意欲を育てる。	○ニュージーランドについて知っているか。 ○ソニアがニュージーランドに誇りをもっているのは、どうしてだろうか。 ○知子が、ソニアに対抗するように日本を大切に思うようになったのは、どんな気持ちからだろうか。 ○ソニアの考え方に触れ、知子が日本人としての意識を深めていったのはなぜだろう。 ○生活の中にある日本の伝統や文化を伝えていくためには、どんなことが大切だろう。	国際社会に生きる日本人としての自覚を深め、日本のよさの理解や伝統と文化の継承に努めようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・奈良筆に生きる 第3学年 ・昔と今を結ぶ糸	社会 外国語
	22	夜のくだもの屋	B-(6) 思いやり、感謝	思いやりへの感謝	人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、それに感謝しようとする態度を育てる。	○暗い夜道を一人で歩くときはどんな気持ちだろう。 ○くだもの屋のあかりを見たときの少女は、どんな気持ちだっただろう。 ○見舞いの品を買いに行ったときに、少女が思わず息をのんだのはどうしてだろう。 ○少女が、「ふたたび、声もなかった。」のはどうしてだろう。 ○人の思いやりに気づくには何が大切だろう。	周りの人の優しさや思いやりに気づき、それに感謝する発言や記述がある。	第1学年 ・人のフリみて 第3学年 ・塩むすび	国語 音楽

(4時間)	23	初心	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	初心に戻る	目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成をめざして、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。	○井上康生さんについて知っていることを挙げよう。 ○父に「僕は柔道をするために生まれてきたと思う。」と言った康生さんは、どのような気持ちだったのだろう。 ○大会で畳にたたきつけられたとき、康生さんはどのような気持ちだったのだろう。 ○康生さんはどのような思いで「これからの康生を見ていてください。」と心の中で答えたのだろう。 ◎表彰台で母の遺影を掲げたとき、康生さんはどんなことを考えていたのだろう。 ○「初心に戻る」ためには、どんなことが大切なのだろう。	目標達成のために努力したり困難を乗り越えたりすることの意義について、発言や記述が見られる。	第1学年 ・サッカーの漫画を描きたい 第3学年 ・銀メダルから得たもの	社会 保健体育
	24	ライバル	B-(8) 友情、信頼	真の友情	生涯にわたる尊敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し、互いに認め、高め合う友情を育もうとする態度を育てる。	○ライバルとは、どういう存在だろうか。 ○啓介が康夫の見舞いになかなか行けなかったのは、どのような気持ちだったからだろう。 ○見舞いに来た啓介に対し、康夫がつかくあたってしまったのはなぜだろう。 ◎「このままではいけない」と考えた康夫が、啓介に対して伝えたかった思いとは、どんなことだろう。 ○康夫からの手紙を読んだ啓介は、どんな内容の返事を書いただろう。 ○真の友情とは、どんなものだろう。	啓介と康夫の心の葛藤に共感し、真の友情について深く考えているような姿勢が、発言や記述に見られる。	第2学年 ・旗 第3学年 ・違うんだよ、健司	保健体育
12月 (2時間)	25	オーストリアのマス川	C-(10) 遵法精神、公德心	規則を守る	きまりは幸福な社会を実現するためにあることを理解し、それを遵守しようとする判断力を育む。	○世の中には、どのようなきまりがあるか。また、そのきまりは必要だと思うか。 ○最初にニジマスが釣れたときの「僕」は、どんな気持ちだっただろうか。 ○グレーリングを釣ったときの「僕」は、どんな気持ちだっただろうか。 ◎釣った魚を川に放つとき、「僕」はどんなことを考えたのだろう。 ○なぜ規則を守らなければならないのだろう。	きまりの必要性や守らないことによる影響を、自分の生活の問題として考えているような発言や記述が見られる。	第2学年 ・ふれいあい直売所 第3学年 ・ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	社会 外国語
	26	よみがえれ、えりもの森	D-(20) 自然愛護	自然環境を守る	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けていることを理解し、そのありがたさに感謝するとともに、自然を守り大切にしようとする態度を育む。	○自然のすこさや素晴らしさを感じたことがあるか。 ○「おれたちの手で、海とふるさとを、よみがえらせるべ。」と常雄さんが決意したのはなぜだろう。 ○さまざまな困難に直面したとき、常雄さんたちはどんなことを思っただろうか。 ◎「えりもの人たちの森づくりは、おわらない。」に込められた筆者の思いを考えてみよう。 ○自然とどう関わっていくことが大切だろうか。自分にできることを具体的に考えてみよう。	人間が自然界のつながりの中で生かされていることに気づき、自然を守り行動しようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・木の声を聞く 第3学年 ・「川端」のある暮らし	理科
1月 (3時間)	27	ダショー・ニシオカ	C-(18) 国際理解、国際貢献	真の国際協力	それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、そのうえで日本人として国際協力を積極的に行動しようとする態度を培う。	○西岡さんはどんな思いで、ヒマラヤの国々で仕事することを希望したのだろう。 ○ブータンの人々に新しい農業のやり方が受け入れられなかったとき、西岡さんはどんなことを考えていたのだろう。 ○シテムガンの開発のために、八百回もの話し合いを重ねた西岡さんの粘りは、どこからきたのだろう。 ◎西岡さんはどんな思いで「国際協力とは、一時的な物の援助であってはならない。」と考えたのだろう。 ○国際協力を行動するには、どんな姿勢が必要だろう。	国際協力とは、一時的な物資の援助ではなく、その国が自立して成長していけるように継続的かつ相互理解に基づいた双方向的なものでなければならないことについて考え、日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度が発言や記述に見られる。	第1学年 ・違いを乗り越えて 第3学年 ・本とペンで世界を変えよう	社会 外国語
	28	コトコの涙	B-(9) 相互理解、寛容	わかり合うこと	人にはさまざまな考え方があつことを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。	○高齢化や少子高齢社会について知っているか。 ○コトコが笹岡さんに声をかけたのは、どんな考えからだろう。 ○マサンが怒ったことに対し田島さんから慰められ、涙をぬぐったコトコはどんな気持ちだったのだろう。 ◎しばらく止まることがなかったコトコの涙には、どんな意味があるのだろう。 ○田島さんの話を聞いたコトコは、今後、笹岡さんにどのように接するだろう。 ○人とわかり合うために、大切にすべきことはなんだろう。	自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする大切さに気づいていったコトコに関して、発言や記述がある。	第1学年 ・自分だけ「余り」になってしまう…… 第3学年 ・言葉の向こうに	総合的な学習の時間
	29	門掃き	C-(12) 社会参画、公共の精神	美しいきたり	社会連帯の根底にある相互扶助や思いやりの心を理解し、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。	○地域に、風習やしきたりがあるか。どのようなものか。 ○「ちゃんとお隣さんとの境も掃くんやで！ 挨拶もしてな！」と母から言われたときの「僕」の気持ちを考えよう。 ○加藤さんの凛とした姿を見て、「僕」はどんなことを考えただろう。 ◎「僕」が「門掃き」をおとして気づいたのはどんなことだったのだろう。 ○身近にできる目配り、気配りにどんなものがあるだろう。	「門掃き」に込められた社会連帯の大切さについて深く考えているような発言や記述が見られる。	第1学年 ・あったほうがいい？ 第3学年 ・サトシの一票 ・自分・相手・周りの人	社会 数学 特別活動

2月 (4時間)	30	避難所にて	A-(2) 節度、節制	調和のある生活	調和のある生活や節制を心がけるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする態度を養う。	○震災時の避難所の写真を見て、何を感じるか。 ○「よろずボランティア相談所」に居づらくなって、「私」たちがその場を離れたのはなぜだろう。 ○弟がポリタンクを運んでいる姿に、「私」が心を揺さぶられたのはなぜだろう。 ◎「私」たち三人が避難所の皆さんへの貼り紙で伝えたかったのはどんなことだろう。 ○調和のある充実した生活を送るために、大切なことをまとめよう。 ○「しあわせ運べるように」にはどのようなメッセージが込められているだろう。	周りの人たちが困難な状況を乗り越え生活するために力を合わせていることに気づき、自分もそうした生き方を大切にしていこうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・疾走、自転車ライダー 第3学年 ・独りを慎む	技術・家庭 (技術分野) 総合的な学習の時間
	31	命を見つめて—猿渡瞳さんの六百四十六日—	D-(19) 生命の尊さ	懸命に生きる	限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。	○「生きている」と感じるのは、どんなときか。 ○直美さんから病気のことを聞かされた瞳さんは、どんな気持ちだっただろう。 ○医師と治療方針を話し合う瞳さんは、どんなことを考えていたのだろう。 ◎瞳さんの命を支え続けたのは、どんな思いだったのだろう。 ○限りある命を懸命に生きることの素晴らしさについて考えてみよう。	かけがえのない生命を大切に、互いに支え合っていることに感謝しようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・ゆうへー生きていてくれてありがとう— 第3学年 ・希望	保健体育
	32	足袋の季節	D-(22) よりよく生きる喜び	強く気高く生きる	人間にある弱さや醜さを自覚しながらも、強く気高く、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を深める。	○「私」は日々どのような生活をしていただろうか。 ○「私」の弱さや醜さが表れている場面を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面には、「私」のどんな弱さや醜さが表れているのだろう。 ◎弱さや苦しみを乗り越えていこうとする「私」の生き方から、「人が強く気高く生きる」ということについて考えてみよう。グループで話し合い、自分の考えをまとめよう。 ○おばあさんが「私にくれた心」とはなんだろう。 ○今日の学習から、自分の生き方に今後生かしていきたいことはなんだろう。	おばあさんの死から、「許しを得られない失敗は人間として決してやらない」と考え生きてきた「私」の思いと深い人間性に共感するような発言や記述が見られる。	第1学年 ・いつわりのバイオリン 第3学年 ・世界を動かした美	国語
	33	恋する涙	B-(8) 友情、信頼	友情と好意	真の友情は悩みや葛藤を乗り越えることで培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める。	○友達にうちあげられた「私」の心の中は、どのようなものだったのだろう。 ○●●くんへの思いが「潮がひくようにさめてしまった」という「私」をどう思うか。 ◎「私」が「恋はつぎつぎにミステリーを解きあかしてくれるステキな冒険」と言っている意味を考えてみよう。 ○友達とよりよい関係を築いていくために、どんなことが大切だろう。	冷静に自分を見つめることで、友情を深めていこうとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・部活の帰り 第3学年 ・ゴリラのまねをした彼女を好きになった	保健体育
3月 (2時間)	34	包む	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本文化の心	我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。	○「ふるしき」はどんなことに使うか、知っているか。 ○筆箱は「包む」ということに対して、どのような思いをもっているだろう。 ○筆箱をハンカチで包んでみよう。 ○包めたら近くの人のところへ持っていき、包みをほどいてから、心を込めて渡してみよう。 ◎「包む」という行為は、どんな心の表れなのだろう。包んで渡した体験をもとに話し合おう。 ○包むことを大切にするほかに、日本の文化の特質として何があるか考えてみよう。	我が国の伝統と文化のよさに興味をもち、「日本人の心」の奥深さに気づく発言や記述がある。	第1学年 ・奈良筆に生きる 第3学年 ・父は能楽師	社会 技術・家庭 (家庭分野)
	35	きいちゃん	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族のきずな	自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。	○家族は、あなたにとってどんな存在か。 ○きいちゃんがいつもさびしそうだったのは、どうしてだろう。 ○きいちゃんは、なぜ「生まれてこなければよかったのに……。」と言ったのだろう。 ○結婚式に出られなくなったきいちゃんは、どんな思いで、ゆかたをぬい続けたのだろう。 ◎きいちゃんが「生んでくれてありがとう。」とお母さんに話したのは、なぜだろう。 ○家族を大切にすることは、どういうことだろう。	きいちゃんの心の変化や言動をとおして、きいちゃんの家族のそれぞれの思いを感じとるだけでなく、生徒自身の家族への思いや、将来の家庭生活の在り方に思いをはせている発言や記述がある。	第1学年 ・家族と支え合う中で 第3学年 ・一冊のノート	社会 技術・家庭 (家庭分野)

年間指導計画案 第3学年

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問(◎は中心発問)	評価の視点	下学年及び 上学年との関連	他教科等との 関連
4月 (3時間)	1 風に立つライオン	D-(22) よりよく生きる喜び	人間の気高さ	内なる弱さと向き合い、それを克服することで、生きることに喜びを見いだそうとする実践意欲を育てる。	○ケニアについてどんなイメージをもっているか。 ○「僕」はケニアへ旅立つとき、どんな気持ちだっただろう。また、恋人はどんな気持ちだっただろう。 ○「僕」の言う「『現在』を生きることには思い上がりたくない」とは、何を意味しているのだろう。 ◎「風に向かって立つライオンでありたい」とは、どんな生き方を言うのだろう。 ○この詩から私たちが学べることは、どんなことだろう。 ○「さたまさしさんからあなたへ」を読んで、何を感じたか。	人間として生きることの喜びを見いだそうとする実践意欲が発言や記述に見られる。	第1学年 ・挫折から希望へ 第2学年 ・自分の弱さとたたかえ	音楽、総合的な学習の時間
	2 銀メダルから得たもの	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	より高い目標をめざして	より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望、勇気の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。	○吉田選手は、どうして試合が終わったあともマットの上で伏せているのだろうか。 ○吉田選手は、小さなときから、どんな気持ちでレスリングに打ち込んできたのだろう。 ○道場へやって来る子どもとの出会いで、吉田選手はどのような気持ちに変化したのだろうか。 ◎銀メダルから得られたものとは、なんだったのだろう。 ○より高い目標をめざすことについて、感じたり学んだりしたことを振り返ってみよう。	目標に向かって諦めずに努力する大切さや、自分に打ち勝つ強い意志の重要性を捉えた発言や記述が見られる。	第1学年 ・サッカーの漫画を描きたい 第2学年 ・初心	保健体育
	3 出迎え三步、見送り七歩	B-(7) 礼儀	おもてなしの心	礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対する敬愛の念を態度で示そうとする実践意欲を育てる。	○「おもてなしの心」について考えてみよう。 ○お客様の出迎え方と見送り方について、グループで話し合おう。 ○上で話し合った出迎え方、見送り方をみんなの前で演技してみよう。 ○演技のあと、感想や意見を発表し合おう。 ◎「出迎え三步、見送り七歩」を読み、山折さんが「『もてなし』の極意」ではないかと感じたのはどんなことか考えてみよう。 ○「もてなす」とはどういうことか、考えたことをまとめてみよう。	話し合いや体験中の態度や様子に、相手を敬愛しようとする思いが見られる。	第1学年 ・「愛情貯金」をはじめませんか 第2学年 ・挨拶は言葉のスキンシップ	国語、特別活動
5月 (3時間)	4 昔と今を結ぶ糸	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の伝統文化	日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させようとする態度を培う。	○孝は、どんな気持ちから「みんながいって言うてんたから、いいんじゃない。」と言ったのだろうか。 ○孝が、先生の話聞いて何かが変わったように感じたのはどうしてだろう。 ◎十二神将像を調べた孝が、えも言われぬ感動を覚えたのはなぜだろう。 ○日本の伝統文化を知ることは、どんなことにつながっていくのだろうか。	先人が育んだ伝統と文化の素晴らしさに気づき、自らも伝統と文化を受け継ぐ役割をになっているという意識が、発言や記述に見られる。	第1学年 ・奈良筆に生きる 第2学年 ・さよなら、ホストファミリー	社会、特別活動
	5 卒業文集最後の二行	C-(11) 公正、公平、社会正義	いじめを許さない心	いじめがいかに非情であるかを理解し、差別や偏見を見抜いて、人間として許されないことを許さない態度を育てる。	○どんなときに楽しいと感じるか。 ○「私」は、T子さんに対してとった行動をいまだに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろう。問題だと考える場面を挙げてみよう。 ○上で挙げた場面について、問題だと考えた理由をまとめてみよう。 ◎いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろう。なぜこのような問題が起きてしまうのかも含めて、グループで話し合おう。 ○「私」のこれまでの生き方を踏まえて、これからの自分の生き方について考えてみよう。	いじめが差別的で人間として許されないものであり、加害者が相手の痛みに対し無頓着かつ傲慢であることに気づくような発言や記述がある。	第1学年 ・公平と不公平 第2学年 ・リスペクト アザース	特別活動
	6 違うんだよ、健司	B-(8) 友情、信頼	本当の友情とは	友情の尊さを理解するとともに、友達をよき理解者として心から信頼し、互いに励まし高め合い、協力し合おうとする態度を育てる。	○掃除のときに健司から「早くしようや。」と注意されて、「僕」はどんな気持ちだっただろう。 ○ショッピングセンターで「そんなのが友達といえるか。」と言われて、「僕」は何を考えたのだろう。 ○耕平から「いや、ちよつとな。」と言われたとき、「僕」の心の中はどうだったのだろう。 ◎夏の大三角を見上げながら「僕」はどんなことを思ったのだろう。 ○本当の友情とは、どんな友情だろう。	「僕」になりきったうえで、共感し葛藤する場面をとらえて、本当の友情とは何かに気づいた発言や記述が見られる。	第1学年 ・近くにあった友 第2学年 ・五月の風—ミカー	特別活動
7 命のトランジットピザ	C-(18) 国際理解、国際貢献	世界平和と人類愛	国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情や態度を育てる。	○天井を見つめ、深いため息をついた杉原は、どんな思いだっただろう。 ○許可が出なくても諦めず二度目の電報を送る杉原には、どんな思いがあっただろう。 ◎ピザの発給を決断する前日、杉原はどんなことを考えていたのだろう。 ○世界のどこにいても、人間として正しいことを行い、世界平和に力を尽くすためには、何が大切だろう。	ユダヤ人を救おうと決心した杉原千敏をとらえて、世界の平和や人類の幸福を大切に思う発言や記述が見られる。	第1学年 ・花火に込めた平和への願い 第2学年 ・海と空—樫野の人々—	社会、外国語、総合的な学習の時間	

6月 (4時間)	8	エリカ—奇跡のいのち—	D-(19) 生命の尊さ	生きていることの奇跡	生きていることの奇跡と尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を養う。	○いつ、どこで生まれ、どんな名前がつけられたか。 ○母親は、どんな思いでエリカを汽車から外にほうり投げたのだろう。 ○女の人は、なぜ危険をおかしてまで、エリカをひきとったのだろう。 ○エリカはどんな思いで「わたしのかけがえのないいのちは、いまもかがやいているのです。」と言っているのだろう。 ○かけがえのないいのちを大切にしようという気持ちについて考えてみよう。	生きていることの尊さや生命のつながり、かけがえのない生命を軽々しく扱ってはならないとする態度が、発言や記述に見られる。	第1学年 ・ばあば 第2学年 ・最後のパートナー	社会
	9	私も高校生	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自分で決めたこと	主体的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことを誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。	○「私」は、愚痴をこぼしてしまったとき、どんな気持ちになったのだろうか。 ○「私」は、どんなことを思って、通信制高校への進学を決意したのだろうか。 ○四年間学び続けることができたのは、「私」にどんな思いがあったからだろう。 ○あなたにとって、学ぶ意味や喜びとは何か、あらためて考えてみよう。	よりよい人生に向け、主体的に考え誠実に実行しようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・裏庭での出来事 第2学年 ・ネット将棋	総合的な学習の時間
	10	あるレジ打ちの女性	C-(13) 勤労	勤労の尊さ	主人公の女性の変容を知ることによって、自分の考え次第で仕事から喜びが得られることを理解し、働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を深める。	○進路を考えるうえで、就きたい仕事はあるか。 ○履歴書に入社と退社の経歴がズラッと並ぶような人がいたら、あなたならどんなアドバイスをするだろうか。 ○昔の日記を見て、主人公の女性が気づいたことは何だろう。 ○これまでレジのボタンだけを見ていた主人公の女性は、何に目がいくようになったのだろう。 ○レジの主任になった彼女は、新人研修で「仕事の素晴らしさ」をどのように伝えていったのだろう。 ○人は何のために仕事をするのか、また仕事とはどんなものなのか、考えてみよう。	働くことによって、社会とのつながりが実感できることに気づき、その素晴らしさについてさらに考えようとする発言や記述がある。	第1学年 ・私は掃除のプロになる 第2学年 ・おばちゃんにくれた「おまじない」	総合的な学習の時間
7月 (2時間)	11	No Charity, but a Chance!	C-(12) 社会参画、公共の精神	ともに生きる社会の実現	自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい共生社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。	○中村医師は、イギリスの病院で何に気づいたのだろう。 ○中村医師は、外国人選手からどのようなことを学んだのだろう。 ○働く場所を作ろうと決意した中村医師の思いを考えよう。 ○中村医師は、どんな気持ちから「彼らの生きがいを失わせてはいけない。」と考えたのだろう。 ○ともに生きる社会の実現のために、どんな生き方が求められるのだろう。	よりよい社会を実現するために自分はどのような貢献ができるのか、実践意欲や態度につながる発言や記述がある。	第1学年 ・富士山から変えていく 第2学年 ・行動する建築家 坂 茂	社会、保健体育、総合的な学習の時間
	12	新しい夏のはじまり	A-(3) 向上心、個性の伸長	前向きな生き方	自己を見つめ、これまでの自分を冷静かつ客観的に振り返るとともに、経験を生かして自分らしく新しい生き方をしようとする態度を育てる。	○体育館にひとり立ちつくしていたとき、亜樹はどんな気持ちでいたのだろう。 ○亜樹は、どういうつもりで「これから、無駄じゃなかったって、思えるようにするの!」と言ったのだろう。 ○亜樹が体育館のとびらを勢いよくしめたのは、どんな思いがあったからだろう。 ○教材から考えたことや友達の意見を聞いて、友達や後輩に伝えたい今の気持ちを考えてみよう。 ○無駄じゃなかったと思えるようにするには、どのように毎日を送ればよいか考えてみよう。	自分自身を見つめ、それまでの経験を生かして新しい生き方をしようという発言や記述が見られる。	第1学年 ・トマトとメロン 第2学年 ・「自分」って何だろう	保健体育、特別活動
	13	「稲むらの火」余話	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	かけがえのない郷土	郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員であるという帰属意識をもって郷土に貢献しようとする意欲を育てる。	○(濱口儀兵衛がたいまつを持った像の写真を見せて)この銅像の人物は何をしていると思うか。 ○津波がやって来ると確信したとき、あなたならどうするか。 ○安政南海地震のあと、儀兵衛はどんな思いをもって行動したのだろう。 ○広村堤防への土盛りが現在も続けられているのは、地域の人たちがどんな思いを抱いているからだろう。 ○私たちは、自分たちの地域のためにどんなことができるだろうか。	郷土に対する自分自身の想いを認識し、郷土に貢献していきたいという発言や記述が見られる。	第1学年 ・震災を乗り越えて-復活した郷土芸能- 第2学年 ・和樹の夏祭り	社会、数学、総合的な学習の時間
	14	言葉の向こうに	B-(9) 相互理解、寛容	相手の気持ちを考える	それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。	○多数決のとき、自分が少数派だと考えや思いを出さないという人がいるが、それをどう思うか。 ○必死で反論する「私」はどのように思っていただろう。 ○「中傷する人たちと同じレベルで争わないで。」という書き込みを見て、「私」はどう思っただろう。 ○「私」は「いちばん大事なことを忘れていた。」と言っているが、どんなことを忘れていたのだろう。 ○相手の気持ちを考えた行動とは、どんなものだろう。	自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった意見や考えを受け入れることの大切さを理解した発言や記述がある。	第1学年 ・自分だけ「余り」になってしまおう…… 第2学年 ・コトコの涙	国語、技術・家庭(技術分野)

9月 (4時間)	15	命の大切さ	C-(11) 公正、公平、社会正義	豊かな人権感覚	不公正な言動をせず、お互いの生命を尊重し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○好奇の視線で見られた経験はないか。 ○入院したばかりの「僕」はどんな思いでいたのだろうか。K君との出逢いを「僕」はどう思っていたのだろうか。 ○病棟から一歩外に出た「僕」は、外来の大勢の人からどんな目で見られ、どう感じたのだろうか。 ○中学校の同級生から「なあんだ髪があるじゃん」と言われたとき、「僕」はどんな思いだっただろう。 ◎「僕」はどんな思いから「彼にありがとうと言いたい。」と考えたのだろうか。 ○差別や偏見のない社会の実現のために、私たちはどうすればよいだろう。	発言や記述から、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度が見られる。	第1学年 ・さかなのなみだ 第2学年 ・ヨシト	社会
	16	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	B-(8) 友情、信頼	人を好きになる	異性への理解を深め、相手の内面的なよさに目を向けて、互いを向上させようとする心情を育む。	○中学校を卒業して20歳になる頃、みんなは何をしているだろう。 ○川崎くんに同意してしまったとき、「僕」はどんな気持ちだっただろう。 ○「小林さんは恥ずかしがらなくていいよ！ あのと、輝いていたと、俺は思うよ。」と言ったとき、「僕」はどんな気持ちだっただろう。 ◎「僕」は、小林さんのどんなところが輝いていると感じたのだろうか。 ○人を好きになるということは、どういうことだろう。	異性を尊重し、互いに高め合う関係を築くことの大切さに触れる発言や記述がある。	第1学年 ・部活の帰り 第2学年 ・恋する涙	保健体育、総合的な学習の時間
10月 (4時間)	17	二通の手紙	C-(10) 遵法精神、公德心	法やきまりの意義	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、規律ある社会の実現に努めようとする態度を育てる。	○私たちはふだん、どんな法やきまりの中で生活しているだろう。 ○姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。 ○元さんが、二通の手紙を並べて見比べながら、初めて考えさせられたことはなんだろう。 ◎上で考えたことをグループで話し合おう。また、この動物園のきまりは何のためにつくられたのかもあわせて考えてみよう。 ○法やきまりについて、どのように考えればよいかまとめてみよう。	法やきまりの意義について理解しようとし、そのよりよい在り方について深く考えているような発言や記述がある。	第1学年 ・使っても大丈夫？ 第2学年 ・美しい鳥取砂丘	社会
	18	独りを慎む	A-(2) 節度、節制	自制する心	望ましい生活習慣を身につけ、充実した人生を送るために、節度を守り節制に心がけ、調和のある生活を自ら実践しようとする態度を養う。	○ためたどわかついても、ついついしてしまう悪い癖はないだろうか。 ○独り暮らしをすることになった「私」は、どんな気持ちだっただろうか。 ○独り暮らしで得た自由について、「私」の考えはどのように変わっていっただろうか。 ○「私」は、どのような精神のことを「問題だ」と言っているのだろうか。 ◎「私」は「独りを慎む」ために、どんなことを大切にしようと考えているだろうか。	生をより豊かにするために望ましい生活習慣を身につけることが大切であり、それを実践していこうという発言や記述が見られる。	第1学年 ・疾走、自転車ライダー 第2学年 ・避難所にて	国語、技術・家庭(家庭分野)
	19	電車の中で	B-(6) 思いやり、感謝	本当の思いやり	他者の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ますことの大切さを理解し、思いやりの心をもって人に接しようとする実践意欲と態度を養う。	○「本当の思いやり」と聞いて、どんなことを思い浮かべるか。 ○タケシは、男性の笑顔と女子二人の満足したような顔を見ながら何を思ったのだろうか。 ○ケンたちに言われて、タケシはどんな気持ちで席を立ったのだろうか。 ◎恥ずかしさが込み上げてきたとき、タケシは何を思ったのだろうか。 ○本当の思いやりとはなんだろう。	お互いが他者の立場を尊重することで心の絆を強くできることに気づき、思いやりの心をもって人に接していきたいといった発言や記述が見られる。	第1学年 ・バスと赤ちゃん 第2学年 ・名乗り出なかった友	特別活動
	20	自分・相手・周りの人	C-(12) 社会参画、公共の精神	公共の場での心構え	公共の場での心構えを理解し、一人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていくようとする意欲を育てる。	○マタニティマークについてどんなことを知っているか。また、「自分・相手・周りの人」と聞いてどんなことを思い浮かべるか。 ○なぜマタニティマークが必要なのか考えてみよう。 ○マタニティマークを「知っているが、つけたことがない」人は、なぜつけないのだろうか。 ◎マタニティマークが受け入れられる社会をめざすには、どんな考え方が大切だろう。考えたことをもとにグループで話し合おう。 ○よりよい社会を築くためには、どんなことを考えていけばよいだろう。	公共の場での心構えを理解し、よりよい社会の実現のために自ら積極的に参画しようとする態度が、発言や記述に見られる。	第1学年 ・あったほうがいい？ 第2学年 ・門掃き	数学、美術
21	失った笑顔を取り戻す	C-(13) 勤労	仕事の意義	働くことによって社会や他者の生き方を支えるという仕事の意義を理解し、社会に貢献する生き方をしようとする意欲を高める。	○職場体験学習で喜ばれた体験を思い出してみよう。 ○臼井さんが義肢装具士の仕事に就いたのはどうしてだろう。 ○臼井さんが、新たにスポーツ用の義足を作り始めたのはどうしてだろう。 ◎臼井さんは、なぜスポーツ用の義足を作り続けたのだろうか。 ○あなたにとって、仕事とはどんなものだろうか。 ○今日の感想とともに、自分の将来と進路選択について考えよう。	臼井さんの心情と自己のさまざまな体験を対比させ、社会貢献の視点で仕事の意義について考えているような発言や記述が見られる。	第1学年 ・役に立つことができるかな 第2学年 ・小さな工場の大きな仕事	保健体育	

11月 (4時間)	22	「川端」のある暮らし	D-(20) 自然愛護	自然とともに生きる	人間は自然の中で生かされていることを自覚し、自然環境を大切にするとともに、自分のできる範囲で自然愛護に努めようとする態度を育てる。	○「川端」の写真や動画から、特徴を挙げてみよう。 ○針江地区の人々は、「川端」や水路といった水文化とどのようにつき合ってきたのだろう。 ○「針江生水の郷委員会」を発足しようとした針江地区の人々は、どのようなことを考えたのだろう。 ◎「水も宝なら、ここで暮らす人々も宝である。」という委員会会長の言葉には、どんな意味が込められているのだろう。 ○人間が、自然と共生していくためには、どんな心構えが必要だろう。	「川端」が人々の暮らしにどのように根づき、生活に溶け込んでいるのかについて理解を深め、人間と自然との共生の在り方を理解し、自然愛護に努めようとする発言や記述が見られる。	第1学年 ・木の声を聞く 第2学年 ・よみがえれ、えりもの森	社会、理科
	23	風景開眼	D-(21) 感動、畏敬の念	自然への畏敬	自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。	○東山魁夷の作品からどのような印象を受けるだろう。 ○筆者は美ノ森の自然をどのように見つめ、感じとっていたのだろうか。 ○筆者が、熊本城からの眺めに涙が落ちそうになるほど感動したのはなぜだろうか。 ◎「私は、生きているというよりも生かされている」という言葉には、どんな思いが込められているのだろう。 ○人の力を超えた自然の力について、日頃から考えていることをまとめてみよう。	筆者が見た「輝く生命の姿」とおして、自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念について深く考えようとしている様子がある。	第1学年 ・オーロラ-光のカーテン- 第2学年 ・樹齢七千年の杉	社会、美術
	24	臓器ドナー	D-(19) 生命の尊さ	自他の生命の尊さ	臓器提供という現代的な課題をとおして、生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけたえのないものとして尊重する態度を育てる。	○臓器移植や臓器提供意思表示カードについて知っていることを挙げてみよう。 ○臓器移植を巡っては、どんな迷いや問題があるだろう。 ○高井さんが「娘をドナーに私は出来ない」というのはどんな思いからだろう。 ○新見さんが自分の臓器提供には肯定的なのに、妻の臓器提供には否定的なのはなぜだろうか。 ◎臓器移植について、家族や周囲の人たちが迷うのはどうしてだろう。自分が臓器を提供するとした場合も含め、その理由を考え、話し合おう。 ○自他の生命の尊さについて、考えたことをまとめてみよう。	臓器提供について自分の考えをもち、仲間の考えを受け入れて、より生命に対する畏敬の念を深め、尊重するような発言や記述が見られる。	第1学年 ・あふれる愛 第2学年 ・体験ナースをとおして	理科
12月 (2時間)	25	iPS細胞で難病を治したい	A-(5) 真理の探究、創造	夢の実現	よりよく生きるために、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。	○iPS細胞について、知っていることを話し合おう。 ○二度の大きな挫折を経験し、山中さんはどんな気持ちだったのだろう。 ○iPS細胞の作成に成功したのは、何がきっかけだったのだろう。 ◎夢の実現に向けて走り続けている山中さんの原動力になっているものはなんだろう。 ○新しいことを生み出すときに、どんなことを大切にすればよいだろう。	よりよく生きたいという願いや、新しいものを創造していくことへの意欲を示す発言や記述が見られる。	第1学年 ・緑のじゅうたん 第2学年 ・戦争を取材する	理科、総合的な学習の時間
	26	父は能楽師	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	日本の文化を受け継ぐ	先人の残した有形無形の文化遺産の中に優れたものを見いだし、それを生み出してきた精神に学んで、継承し発展させようとする心情を養う。	○竜天は、父のあとを継いで能楽師になることをなぜ決めかねているのだろう。 ○父の姿が何か違って見えたのはどうしてだろう。 ○友達がしたような質問を、竜夫が父にできなかったのはどうしてだろう。 ◎父が厳しい指導で能楽を学ばせようとしている理由を、竜夫が真剣に考えてみようと思ったのはどうしてだろう。 ○文化や芸能を受け継ぐために、どんなことを大切にすればよいだろう。	竜夫の内面的成長から学んだことをもとに、能楽などの伝統文化を受け継ぎ発展させることの意味や意義について考えている発言や記述がある。	第1学年 ・奈良筆に生きる 第2学年 ・包む	社会、総合的な学習の時間
1月 (3時間)	27	本とペンで世界を変えよう	C-(18) 国際理解、国際貢献	世界平和を考える	国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。	○マララ・ユスフザイについて知っていることはあるか。 ○武装勢力がスワットを支配し、学校へ通えなくなったとき、マララはどんな気持ちだっただろう。 ○「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えられる」という言葉には、マララのどんな思いが込められているのだろう。 ◎マララをここまで突き動かすものは、なんだろう。 ○世界平和の第一歩には、どんなことがあるだろう。	マララの姿をとおして、世界平和について自分のこととして考える発言や記述が見られる。	第1学年 ・違いを乗り越えて 第2学年 ・ダショー・ニシオカ	外国語、総合的な学習の時間
	28	塩むすび	B-(6) 思いやり、感謝	周りへの感謝	家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。	○母に食事係の担当を促されたときの「私」の気持ちを考えてみよう。 ○「私」が塩むすびのアイデアに素直に賛成できなかったのは、どうしてだろう。 ◎「食事係で新しい世界を知った」という「私」は、どんなことを考えたのだろう。 ○私たちを支えてくれている人の思いやつながりに、どのように応えていけばよいだろう。	「私」が周囲に喜んでもらえたことや、おばさんたちの気遣いについて深く考えようとしている発言や記述がある。	第1学年 ・人のフリみて 第2学年 ・夜のくだもの屋	技術・家庭(家庭分野)、総合的な学習の時間

	29	町内会デビュー	A-(1) 自主、自律、自由と責任	自律的な生き方	自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していくとする判断力を養う。	○最近、「自分で決めて行動した」と自信をもって言えることがあるか。 ○母から町内会の共同作業に参加することを頼まれ、黙って台所を出た明は、どんなことを思っただろう。 ○ザクッ、ザクッと草を刈る明は、どんな気持ちだろう。 ○明は、どうして自分から草や枝を集めて運び始めたのだろうか。 ○背筋を伸ばして大股で学校に向かった明は、どんなことを思っただろう。 ○自ら考え、行動することの素晴らしさについて考えてみよう。	自分の意志で行動することの大切さを捉えた発言や記述がある。	第1学年 ・私らしさって? 第2学年 ・五月の風—カナ—	特別活動
2月 (4時間)	30	一冊のノート	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族の在り方	祖母の苦悩や不安、家族への思いに気づく主人公の姿をおして、家族への敬愛を深め、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を養う。	○高野有である祖母の気持ちが表現されている部分に線を引ながら、教材を読もう。 ○「誰だって年を取ればしわもできれば白髪頭にもなってしまふものよ。」と言った祖母の気持ちは、どんなものだっただろう。 ○祖母が書いた一冊のノートには、祖母のどんな思いが込められているのだろう。 ○祖母と並んで草取りをする「僕」は、どんなことを考えていたのだろうか。 ○「僕」と祖母が並んで草取りをする場面を、みんなの前で演技してみよう。演技のあとに、「僕」と祖母それぞれの思いを考えてみよう。 ○家族みんなの幸せについて、深く考えてみよう。	「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安、自分の家族に思いをはせる発言や記述が見られる。	第1学年 ・家族と支え合う中で 第2学年 ・きいちゃん	技術・家庭(家庭分野)
	31	サトシの一票	C-(12) 社会参画、公共の精神	よりよい社会の実現	社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会に参画することで、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を養う。	○「選挙」に対して、どんなイメージをもっているか。 ○「選挙は俺たちの未来を左右する、大切な機会」と兄に言われて、サトシは何を思っただろう。 ○「この街のこれからのことを考えなきゃいけない」と言う兄の姿から、サトシは何を考えただろう。 ○サトシは「将来の一票」をどのように捉え、どうしようと考えているのだろうか。 ○あなたが住む街の未来のために、できることを考えてみよう。	「将来の一票」がよりよい社会の実現につながることに気づいた様子が、発言や記述に見られる。	第1学年 ・あったほうがいい? 第2学年 ・門掃き	社会
	32	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	C-(10) 遵法精神、公德心	規律ある社会	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守ることにより、規律ある社会の実現に努めようとする態度を育成する。	○この人はモースというアメリカ人だが、何をした人が知っているか。 ○モースが考える「あたりまえの心遣い」とはどのようなことだろうか。 ○現金と懐中時計を部屋に置いていこうと言われたとき、モースはどう思っただろう。 ○モースを魅了した明治期の日本のよさを支えていたものはなんだろうか。	規律ある社会のために法やきまりを守ることの大切さについて、発言や記述がある。	第2学年 ・ふれいあい直売所 第2学年 ・オーストラリアのマス川	社会、外国語
	33	世界を動かした美	D-(22) よりよく生きる喜び	よりよく生きる	さまざまな環境の中で人間としてよりよく生きようとすることの大切さを学び、自分の生き方についての考えを深める。	○俳優として世界のスターになり、オードリーはどんな思いだっただろう。 ○紛争地帯の子どもたちを見て、オードリーは何を感じただろう。 ○ユニセフ親善大使となったオードリーは、どんな思いで紛争地帯を訪問し、活動を続けたのだろうか。 ○あなたの心を強く突き動かした、人の生き方について考えてみよう。	話し合い活動への積極的な参加や発言、記述をおして、授業の初めよりも「自分の人生をよりよく生きること」への関心が高まっている様子が見られる。	第1学年 ・いつわりのバイオリン 第3学年 ・世界を動かした美	外国語
3月 (2時間)	34	お別れ会	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	我が校を愛する心	自分の学校に対する愛着を深め、協力して校風を継承し、発展させようとする態度を育てる。	○みんなが大切にしている我が校の「伝統」「校風」といえば、どんなものが挙げられるだろうか。 ○南中を卒業する「僕」は、どんな中学生だったのだろうか。 ○孝好と目が合ったような気がして、「僕」がどきどきしたのはなぜか。 ○「僕」が高校でも剣道を続け、後輩たちのコーチに来ているのは、どんな思いからだろうか。 ○学校の一員として、よりよい学校をつくるためにはどうすればよいか、考えてみよう。	自校の校風を見だし、愛着をもつとともに、それを継承し、発展させていこうとする意欲が発言や記述に見られる。	第1学年 ・むかで競争 第2学年 ・ハイタッチがくれたもの	保健体育、特別活動
	35	希望	D-(19) 生命の尊さ	かけがえのない生命	生命の重さを、その連続性や有限性なども含めて理解するとともに、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする意欲を高める。	○東日本大震災の写真や動画を見て、どんな感想をもったか。 ○暗闇の中、「私」はどんな気持ちでラジオを聞いたのだろうか。 ○祈りのために目を閉じたとき、「私」はどんなことを考えていたのだろうか。 ○祖母の言葉を聞いて、「私」の心はどうしてざわざわしたのだろうか。 ○復興へ向けて働く人々を見て、「私」はどんな心のざわめきによって、自分を変えようとしたのだろうか。 ○今回のできごとから「私」はこれからどのように生きていこうと決心したのだろうか。 ○尊い生命を大切に生きていくには、何が必要だろうか。	生命の尊さや有限性などを理解し、生命を大切にするために、自分にできることは何かを考えている発言や記述が見られる。	第1学年 ・ゆうへー生きていてくれてありがとう 第2学年 ・命を見つめて—猿渡瞳さんの六百四十六日—	社会、総合的な学習の時間、特別活動